

**第二期中期目標期間
公立大学法人首都大学東京
業務実績評価書
項目別評価（素案）**

【項目別評価】

業務実績の検証

項目別評価の実施にあたって、法人から提出された業務実績報告書を基に検証を行った。
 検証にあたっては、中期計画に記載されている各項目の事業の進捗状況及び成果について、法人の自己評価及び計画設定の妥当性を含め総合的に行った。
 検証は、法人からのヒアリングにより実施した。

業務実績の評価

業務実績報告書の検証及び特記事項等を基に、事業の進捗状況・成果を大項目ごとに1～4の4段階で評価した。

【中期目標期間評価】

評価	1... 中期目標の達成状況が極めて良好である。 2... 中期目標の達成状況が良好である。 3... 中期目標の達成状況がやや不十分である。 4... 中期目標の達成状況が不十分であり、法人の組織、業務等に見直しが必要である。
----	---

中期計画の大項目ごとの評価及び評価説明は、以下のとおりである。中期計画の項目に沿って記載する。

首都大学東京に関する目標を達成するためにとるべき措置

1 教育に関する目標を達成するための措置

取組事項	大項目番号	評価項目（大項目）	評価
(1) 教育の内容等に関する取組	1	入学者選抜 ～意欲ある学生の確保～	2
	2	教育課程・教育方法	1
(2) 教育の実施体制等に関する取組	3	教育の実施体制	2
	4	教育の質の評価・改善	2
	5	成績評価	2
(3) 学生支援に関する取組	6	全学を挙げた取組の実践	2
	7	キャリア形成支援	2
	8	健康支援	2
	9	経済的支援	2
	10	留学・留学生支援	2
	11	障がいのある学生への支援	1
	12	学内外における学生活動への支援	1

【特記事項】 優れた点、特色ある点、改善を要する点など

(優れた点・特色ある点)

法人が掲げた中期計画の達成に向けて、学士課程教育・大学院教育の改革に積極的に取り組んできた。特に教育改善への取組やその過程が顕著であり、新たな教育研究組織の体制へと進展したと理解でき、高く評価する。

第二期中期計画期間において国際化への取組は強化されており、学生交換協定校を拡充し、留学生確保のための日本留学フェア等の実施により、留学生の派遣数・受入数ともに着実に増加している。また、学長裁量枠若手研究者海外派遣支援制度など教員の国際交流推進に係る制度の構築も進んだ。新たに保護者向け説明会を行うなど、大学説明会等を充実させ、志願者・保護者・高校教員に広く発信している。また、大学院博士前期・後期課程において10月入学を複数の研究科で導入するなど、より柔軟な進路選択が可能な環境を整えた。

授業改善のためにFD活動と共に、授業改善アンケートを活用し、シラバス改善に努めている。ダイバーシティ推進室とダイバーシティ推進委員会が中心となって、組織的に障害のある学生への支援が行われている。障がいのある学生も支援スタッフとなって企画や情報提供を行っている点を評価する。更なる全学での支援・活動充実や参加者増加に期待する。

ボランティアセンターを開設し、学生への情報提供・相談支援・マッチングを行うなど、ボランティア活動に関する充実した支援が行われている点を高く評価する。東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会開催を見据えた、学生、大学のボランティアとしての関わりの充実にも期待する。

(更なる充実が期待される点)

「研究者交流サロン」や「サイエンスカフェ」は成果をあげていると評価する。学際的な議論が新しい研究へと発展することを期待する。

TA制度にSTA、SAを新設したり、TAの従事対象時間を拡大するなど、制度の充実が図られている点が評価できる。TA制度は授業補助を行いながら学生が能動的に学ぶ機会ともなることから、効果的な取組となるように教員への意識啓発など、更なる充実が期待される。

メンタルヘルス対策として研修会を実施しているが、回数を増やす、参加しやすい時間帯を工夫するなど、参加者数を増加させるための工夫が必要である。

(改善を要する点)

大学院博士後期課程の一部の専攻で定員を充足していない。第一期中期目標期間の業務実績評価においても、改善を要する点として、一部の研究科における定員充足率の低迷を指摘されている。十分に検討し、改善に取り組んでいただきたい。

2 研究に関する目標を達成するための措置

取組事項	大項目番号	評価項目(大項目)	評価
(1) 研究の内容等に関する取組	13	研究の内容等	2
(2) 研究実施体制等の整備に関する取組	14	研究実施体制等の整備	2

【特記事項】優れた点、特色ある点、改善を要する点など

(優れた点・特色ある点)

先駆的な研究グループに対して、積極的な研究支援と戦略的な研究資源の配分を行った。傾斜的研究費(全学分)学長裁量枠による選択と集中で先駆的研究を支援することだけでなく、成果報告会を通じて情報発信していることは「透明性」と「客観性」を高めるために非常に重要である。科研費作成支援を実施し、科研費新規採択率30%を維持した。リーディングプロジェクトや傾斜的研究費(全学分)学長裁量枠によるプロジェクトの支援、URA室の設置などの施策で、世界トップレベルの研究を推進・支援する体制は素晴らしい。また、やがて世界的研究につながるかもしれない、若手研究グループへの支援も好ましい。出産・育児・介護と教育研究の両立を支援するために、研究支援員制度を創設したり、一時保育施設を新設するなど、ワーク・ライフ・バランス支援の充実が図られている点が評価できる。女性の活躍面でも、女性研究者雇用促進計画及び改善計画に基づき、ポジティブ・アクションが推進され、女性教員割合が高まるなどの成果が表れている。平成23年度から平成28年度までにおいて女性研究者比率が増加しており、理学・工学系の女性教員の採用を着実に進めた。

(更なる充実が期待される点)

科研費の申請件数が増加している点を評価するが、平成26年度以降、新規採択率が5%程度低下している点は検討を要する。

3 社会貢献に関する目標を達成するための措置

取組事項	大項目番号	評価項目(大項目)	評価
(1) 都政との連携に関する取組	15	都政との連携	2
(2) 社会貢献等に関する取組	16	産学公の連携推進	2
	17	地域貢献等	2

【特記事項】優れた点、特色ある点、改善を要する点など

(優れた点・特色ある点)

八王子市と包括連携協定を締結して、イベントの共催、ボランティアに関する協定締結が行われ、自治体と連携した事業が推進されている。自治体と連携した事業モデルづくりに繋がっていくことが期待される。

大学発ベンチャーの新規設立及び既存の大学等発ベンチャーに対する経営支援により、産学連携機能の強化に貢献した。

地域との連携活動、社会人リカレント教育、オープンユニバーシティの再構築など、地域や社会に向けた教育の充実が図られている点が評価できる。オープンユニバーシティは民間福利厚生会社と連携することなどにより受講者数の拡大につなげた。

都をはじめとする各自治体の政策立案等の担い手の育成のためのプログラムを提供する等、人材育成に貢献している。都政との連携が大きな特徴である。

産業技術大学院大学に関する目標を達成するためにとるべき措置

1 教育に関する目標を達成するための措置

取組事項	大項目番号	評価項目(大項目)	評価
(1) 教育の内容等に関する取組	18	入学者選抜	2
	19	教育課程・教育方法	1
(2) 教育の実施体制等に関する取組	20	教育の実施体制	1
	21	教育の質の評価・改善	2
(3) 学生支援に関する取組	22	学生支援	2

【特記事項】優れた点、特色ある点、改善を要する点など

(優れた点・特色ある点)

PBL(問題解決型学習)教育の内容等を運営諮問会議参画企業等からなる委員会で検討し、産業界と連携した教育改善を行っている。また、PBL教育をアジア諸国に普及させるためAPENネットワーク(アジア高度専門職人材育成ネットワーク)を設立し、グローバル人材育成に貢献している。

実践型教育として「次世代成長産業分野高度人材養成プログラム」を実施する中、「事業アーキテクトコース」を設置して起業や事業改革を行う人材を輩出している点を高く評価する。

ディプロマ・サプリメントの導入、ブレンディッド・ラーニングの本格導入、WEB利用による授業評価システム導入等、授業の質向上や教育効果の測定について、先進的取組を行っていることを評価する。

平日夜間、土曜昼間の開講、クォータ制、長期履修制度、AIITブレンディッド・ラーニング、オンライン講義配信システムなど、学生の要望に応じた多様な学生支援がある。

文部科学省事業をはじめとする他大学との連携事業を4事業実施し、教育研究の連携を強化した。

専門職大学院認証評価における分野別認証機関の評価について、毎年、受審結果を踏まえた改善が行われ、評価結果が大きく改善している。

(更なる充実が期待される点)

多様な入試、教職員の企業訪問による広報活動など、地道な努力を行った結果、志願者の減少には抜本的な歯止めがかかっているとはいえず、創造技術専攻の定員割れについては、引き続き積極的な広報が望まれる。

2 研究に関する目標を達成するための措置

取組事項	大項目番号	評価項目（大項目）	評価
(1) 研究の内容等に関する取組	23	研究の内容等	2
(2) 研究実施体制等の整備に関する取組	24	研究実施体制等の整備	2

【特記事項】優れた点、特色ある点、改善を要する点など

(優れた点・特色ある点)

毎年度、ほぼすべての教員が参加する PBL 研究会を開催し、研究会からプレジデント・ラーニングやルーブリック評価が導入される等、PBL 教育手法に関する研究を継続的に実施していることを評価する。

産業デザイン研究所・ビッグデータ研究所などの開発型研究の推進など、高度専門技術者の育成に貢献している。

学生・教員ともに多様さを持っており、それがユニークな教育システム・プログラムにつながっている。今後より先駆的な研究成果が生まれることを期待する。

3 社会貢献等に関する目標を達成するための措置

取組事項	大項目番号	評価項目（大項目）	評価
(1) 都政との連携に関する取組	25	都政との連携	2
(2) 社会貢献等に関する取組	26	産学公の連携推進	2
	27	地域貢献等	2

【特記事項】優れた点、特色ある点、改善を要する点など

(優れた点・特色ある点)

産技大の知見を活用し、都や区市町村等の政策課題に対する支援を着実に実施し、シンクタンク機能を発揮した。

文部科学省の補助金・事業委託、ASEAN 事業など、外部資金の確保が行われている点を評価する。

中小企業や地元産業との交流を図りながら、ニーズを把握し、人材育成にもつなげている姿勢が優れている。

(更なる充実が期待される点)

マンスリーフォーラム等の取組が定着し、地域・社会への貢献については一定の成果を継続しているが、マンネリ化を避けるためにも現状に甘んずることなく、さらなるチャンネル拡大と新たな視点からの取組を期待する。

産業技術高等専門学校に関する目標を達成するためにとるべき措置

1 教育に関する目標を達成するための措置

取組事項	大項目番号	評価項目（大項目）	評価
(1)教育の内容等に関する取組	28	入学者選抜	2
	29	教育課程・教育方法	1
(2)教育の実施体制等に関する取組	30	教育の実施体制	2
	31	教育の質の評価・改善	2
(3)学生支援に関する取組	32	学生支援	1

【特記事項】優れた点、特色ある点、改善を要する点など

(優れた点・特色ある点)

女子学生向けサイトの設置、女子学生向けカレッジガイドやノベルティの作成・配布等、女子学生の確保に向けての取組が行われている点が評価できる。学生の女子比率は1割に満たないため、更なる確保へ向けた取組を期待する。

国際化に向けて、GEP、GCP及び海外インターンシップの3つの海外体験プログラムを開始して、学生がステップアップ、継続して国際化事業に参加できる仕組みを構築し、また、国際交流ルームを設置する等、派遣前の学生を支援する体制が整えられてきていることを高く評価する。

第二期中期目標期間中に、学生の自己評価の指標の設定、教務システムへの実装と実施、教員へのフィードバック、詳細な自己評価のためのルーブリック評価の導入等を順次進めた。学生の自己学習の改善とともに、教員の教育の改善にも活用できる素晴らしい方法である。

上級学生が下級学生の相談に応じるSA制度の導入について、校内塾SA、情報センターSA、編入学生SAなど、目的に応じた仕組みを作るなど、相談体制の充実が図られている点が評価される。

上記の海外体験プログラムや、高度情報セキュリティ人材及び航空技術者の育成プログラムの新設は、産技高専が、時代のニーズにマッチしていることを証明しており、高く評価する。

(更なる充実が期待される点)

産技大との連携施策により、品川キャンパス内には産技大も併設されているというユニークさも活かし、高専・大学連携が推進されているが、学生の意見も十分に聴取しながら、より強化することで産技高専への注目度を高め、志願者増を図っていただきたい。

2 研究に関する目標を達成するための措置

取組事項	大項目番号	評価項目（大項目）	評価
研究に関する取組	33	研究に関する取組	2

【特記事項】優れた点、特色ある点、改善を要する点など

(優れた点・特色ある点)

教育機関としての産技高専の特性を活かしつつ、科研費・外部資金獲得に向けて教員への支援に取組んだ成果が着実に顕在化している。学生へも好影響を与えるものと評価する。

(更なる充実が期待される点)

外部講師によるセミナー、個別コンサルティング等の効果で、科研費の申請者がより増えてきている。今後の成果を期待する。

3 社会貢献等に関する目標を達成するための措置

取組事項	大項目番号	評価項目（大項目）	評定
(1) 都政との連携に関する取組	34	都政との連携	2
(2) 社会貢献等に関する取組	35	産学公の連携推進	2
	36	地域貢献等	2

【特記事項】優れた点、特色ある点、改善を要する点など

(優れた点・特色ある点)

教材及び教育手法をまとめたテキストの開発・配布、小中学校へのものでづくり教育支援員の派遣や教員への研修、小中学生に対する教室開催など、ものでづくり教育の中核機関としての取組が行われている。

企業等との地域連携が、学生の教育研究活動（学生による企業の未活用特許を活用したビジネスプランを企業へ提言するなどの取組等）にも活かされている点を評価する。

地元自治体からの委託により、若手技術者支援講座を継続的に開講し、ものでづくり技術者に対する「学び直し」の場を提供していることは、意義深い。

東京都立産業技術研究センターと産技高専との連携協定に基づき、企業からの相談に応じて、技術相談や共同研究を推進している。

東京都の自治体や関係機関との連携で東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会を見据えた事業に取り組んでいる。さらなる発展を期待する。

(更なる充実が期待される点)

地方では高等教育機関が少ないこともあり、地域・社会における高専の存在感が比較的高い。産業技術高専の場合は首都大や産技大との連携をアピールした活動を検討していただきたい。また、首都圏の高専としての特長を活かした活動も期待する。

法人運営の改善に関する目標を達成するためにとるべき措置

取組事項	大項目番号	評価項目（大項目）	評定
組織運営の改善に関する取組	37	戦略的な組織運営	2
	38	組織の定期的な検証	2
	39	教員人事	1
	40	職員人事	2
	41	各センター組織の機能強化	2
業務執行の効率化に関する取組	42	業務執行の効率化	2

【特記事項】優れた点、特色ある点、改善を要する点など

(優れた点・特色ある点)

首都大が有する教育研究資源の有効的な集約と配置、及び先端分野の強化のために、新たな時代に即した組織再編を決定した。

法人運営を支える事務組織の体制整備や機能の強化について、国際化、学生支援機能、研究支援体制強化、産学公連携、情報などについて、確実に充実が図られている。

各大学及び高専の特性に合わせた教員人事計画を策定するとともに、新任教員に対して、ワークショップや研究会、研修会が開催されるなど、充実した支援が行われている点が評価できる。

高い専門性と経営感覚を兼ね備えた「プロ職員」育成に向けた海外研修プログラムの実施、他組織への派遣研修等を評価するが、更に一層の研究・実行が望まれる。
 庶務、会計、教務などの業務ごとに業務処理プロセスを見直し、業務改善を図っている。また、ICT環境を整備し、業務の効率化・教育研究活動の質的向上につなげている。

(更なる充実が期待される点)

教育・研究活動の活性化を図るため、産学公連携センター、総合研究推進機構、学生サポートセンターなど、縦割組織の弊害を打破する組織横断的な機能の更なる充実を期待する。

(改善を要する点)

業務効率化は具体的な数値目標(書類・会議時間削減、プロセス削減等)を設定した上で推進し、その進捗を定量的に評価すべきである。

財務運営の改善に関する目標を達成するためにとるべき措置

取組事項	大項目番号	評価項目(大項目)	評定
自己収入の改善に関する取組	4 3	自己収入の改善	2
経費の節減に関する取組	4 4	経費の節減	2
資産の管理運用に関する取組	4 5	資産の管理運用	2

【特記事項】優れた点、特色ある点、改善を要する点など

(優れた点・特色ある点)

外部資金獲得に向けて、支援体制や研究支援活動の強化が行われたことにより、外部資金の件数、金額とも大きく増加している。

学内施設の有効活用に向けた規程等の改正、知的財産有用支援体制の強化により、貸出件数や知的収入金額が増加し、取組の効果が表れている。

経費節減のためのエネルギー消費削減に取り組み、消エネ機器に交換して、電気使用量を着実に減少させている。

剰余金の基金化を促進し、教育研究プロジェクト推進や大学院生奨学金等の学生支援に活用した。

(更なる充実が期待される点)

卒業生、地域などをはじめとする一般社会から、一般寄付金を、薄くでも良いので広く集める試みは、地道にしっかり継続していただきたい。

自己点検・評価及び情報の提供に関する目標を達成するためにとるべき措置

取組事項	大項目番号	評価項目(大項目)	評定
自己点検・評価等に関する取組	4 6	自己点検・評価等	2
情報提供等に関する取組	4 7	情報提供等	2

【特記事項】優れた点、特色ある点、改善を要する点など

(優れた点・特色ある点)

自己点検の整備充実についての取組が継続されていることを評価する。また、各種評価結果に対して、法人、各大学・高専において、改善計画の策定等が行われ、具体的な取組として実施されており、教育・研究の質向上につながっている。

認知度向上に向け、全国紙や書籍に、記事・広告を掲載するなど、法人全体で、国内外の様々な広報媒体を活用するなどして情報発信の強化が行われている点が評価できる。

(改善を要する点)

第二期中期目標期間において、複数回情報セキュリティ事故が発生し、平成23年度、25年度、26年度の評価委員会による評価においてリスク管理に問題があることが指摘された。今後も緊張感を持って再発防止に取り組んでいただきたい。

その他業務運営に関する重要目標を達成するためにとるべき措置

取組事項	大項目番号	評価項目(大項目)	評価
施設設備の整備・活用等に関する取組	48	施設設備の整備・活用等	2
安全管理に関する取組	49	安全管理	2
社会的責任に関する取組	50	環境への配慮	1
	51	法人倫理	2
国際化に関する取組	52	国際化	2

【特記事項】優れた点、特色ある点、改善を要する点など

(優れた点・特色ある点)

エコキャンパス・グリーンキャンパス化の推進による省エネルギー対策を実施し、第二期中期計画期間において、都民の健康と安全を確保する環境に関する条例(東京都環境確保条例)に定める温室効果ガス排出量削減義務率の大幅な向上が図られている点を高く評価する。

メンタルヘルスも含めた健康の保持・増進、RI施設等の安全管理、日常的な危機管理体制の整備などを推進した。特に危機管理体制について、単にマニュアルを整備するだけでなく、実践的・効果的な訓練も行っていることは評価する。

特に教職員の心の健康保持増進の取組として、メンタルヘルス研修や、ストレスチェック、カウンセリングサービスなどの充実が図られており、研修等による意識啓発により、重度化する前に、相談につなげたり、職場改善を行う取組が行われることを期待する。

各大学・高専において国際化に向けた取組が推進されている中、グローバル人材の育成・輩出に向けて、法人が企画調整をして学生国際交流プログラムを立ち上げている点が評価できる。

都市外交人材育成基金の活用により、アジア諸都市からの留学生を受け入れ、高度な研究を進めてきたことが、次の時代の国際交流に発展することを期待する。併せて、経済連携協定に基づく看護師候補者及び介護福祉士候補者の国家試験合格支援が継続して大きな成果を上げている。

(更なる充実が期待される点)

倫理、コンプライアンス面での大きな問題が発生しない組織を維持し続ける必要がある。

セクハラ・アカハラ等への対策として、研修の実施、相談員の配置、外部専門家の活用体制整備などの充実が図られている点が評価できる。更なる未然防止のための意識啓発、起こってしまった場合の外部専門家を含めた多職種連携による対応充実を期待する。